

そもそも不具合日記をつけていますか？

私はコンサルタントになる前、自らが加工者だった頃、よくミスをしていましたが、その際に必ず不具合日記をつけていました。

設計をしていたときも同様です。CAM データ作成業務をしていたときも、マシニングのオペレーター業務をしていたときも同様です。

ミスをやらかすたびに、日付と内容をセットにして、自分の不具合日記をつけていました。

最初はノートでしたが、会社で自分用としてのパソコンを使用できる環境になってからは、EXCEL でその不具合日記をつけていました。

何の為か？それはもちろん再発防止のためです。

対策を考えたときは、それもセットにして書いていましたが、何と言っても目的は、以前やってしまったミスを思い出すための記録です。

この不具合日記に大した目的まで考えてはいませんでした。やはり2回同じミスを繰り返すことは避けたいので、マシニング加工で言えばサイクルスタートボタンを押す前、CAMデータ作成で言えば計算をかける前や後工程にデータや指示書を渡す前、必ず不具合日記を一通り、見るようにしていました。

会社の不具合対策は2段階ある

こうした不具合への対策ですが、次のような2段階に分かれると思っています。

- ① 個人レベルでの対処
- ② 工程ごとや部門で標準化する対処

私がとっていた対応は、①の「個人レベルでの対処」です。

これを読んでくださっている方にお聞きしたいのが、自分がミスをしてしまったとき、まずは個人レベルでの対処でいいので、何か行っていますでしょうか？

「次も同じミスをしないよう気を付けるようにしています」

これは対処しているうちに入りません。何か行動レベルで対処して、はじめて対処したと言えます。

別に私と同じような不具合日記を必ずつけてください、と言っているわけではありません。同じミスをしないための対策を、何か一つでもいいのでとっていますか？ということです。

また、複数で同じ作業をする者同士で共通した対策をとるのが、②の「工程ごとや部門で標準化する対処」です。

これは上司や管理者などの指示のもと、最も効果のありそうな対策を、同じ作業をする全員で統一して採用し、皆でミスを撲滅しましょうという取り組みです。